



	人口	面積
三重県	1,830,393人	5,777km ²
津市	281,919人	710km ²
鳥羽市	20,153人	108km ²

【三重県】

一年中開かれている県議会

三重県は全国に先駆けて議会改革を進めてきた県です。平成7年の「議会に係る諸問題検討委員会」の発足から始まり、さまざまな改革を実施しながら18年には「三重県議会基本条例」を制定しました。

本条例によって、強化すべき議会の機能、知事との関係、県民との関係、などを明文化しています。特徴的なのは、議会を1年中開いたままにすること、いつでも議員を招集できる、「通年議会」を導入していることです。これにより、議会の自由度を高め、行政のスピードアップに寄与しています。



前田三重県議会副議長が、三重県の取り組みを説明(三重県議会棟会議室)

三重県の県庁所在地である津市の議会改革は、カタチから入るよりも実質的な効果を狙った改革をひとつずつ着実に進めるというスタイルをとっています。全国的に見ると、まず「議会基本条例」を制定し、方針を明確にしてから議会改革に取りかかる



対面方式などを取り入れた議場(津市議会議場)

感を高めています。これにより、議会傍聴者や、テレビ中継を見ている方にも議論の内容が伝わり易くなりました。三重県内の市町村議会において議会改革が進んでいるのは、三重県議会の影響が大きいことを強く感じました。

【津市】

カタチよりも実質的改革を

自治体が多い中であって、津市議会には「予算決算委員会の設置」「議場における対面方式」など、具体的な施策を先に進めてきました。開かれた議会にするには「議会基本条例」が必須というわけではないという、好例でした。報告会は年間30回以上におよび、市民から寄せられた生の声を市

【鳥羽市】

離島へも赴き、声を聞く議会

鳥羽市は人口2万3千人。議員数14人で、安八町と同じくらいの規模の議会ですが、日本経済新聞の調査では、議会改革度が全国で2位という高い評価を得ています。平坦な安八町とは違い、入り組んだ海岸線を持つ同市は、離島も山間部もあるという地形的な特徴を持っています。こうした厳しい条件下でも、議会議員がチームに分かれて離島へも赴き、議会報告会を開催しています。報告会は年間30回以上におよび、市民から寄せられた生の声を市



議員は離島へも行って報告会を開いています